資料４

〔　患者情報共有ネットワーク構築事業　〕

【令和元年度（2019年度）実施分】

事　業　計　画　書

事業者名	**公益社団法人　室蘭市医師会**
担当者名	（略）
連絡先	（略）
実施する事業の内容	現在、北海道西胆振医療圏にてスワンネットを2018年4月1日に稼働開始し、2019年7月31日現在参加施設159施設/登録住民23,729名（対人口比13.3%）に達しており、完全な医療介護連携の強化・拡張を行い、多職種間で連携強化を実現します。
事業実施により見込む効果	その既に高度化されているEHR（スワンネット）の患者流動性を考慮した参加施設の拡大により、患者の治療に携わる医療者間で共有することにより、専門医とかかりつけ医間、異なる疾患、診療科の専門医間の情報共有を密にし、適切な診断及び治療方針の決定支援、医療者、患者の人的・時間的負荷の軽減が期待される。 又、医療と介護の連携を強化することにより、スムーズな多職種間連携が期待される。
ネットワークの運営方法	現在の運営主体は室蘭市医師会で、運営委員会を設置し、運営上の問題解決にあたる。参加施設、病院、医科診療所、歯科診療所、調剤薬局、介護事業所でユーザー会を設置し、各施設の運用に関する意見を収集とセキュリティの研修を行っている。 なお、運営費としては現在施設規模等を参考に利用料を徴収している。
備　　考	